

令和6年度 和歌山県学力到達度調査（中学校）の結果の概要

調 査 の 概 要

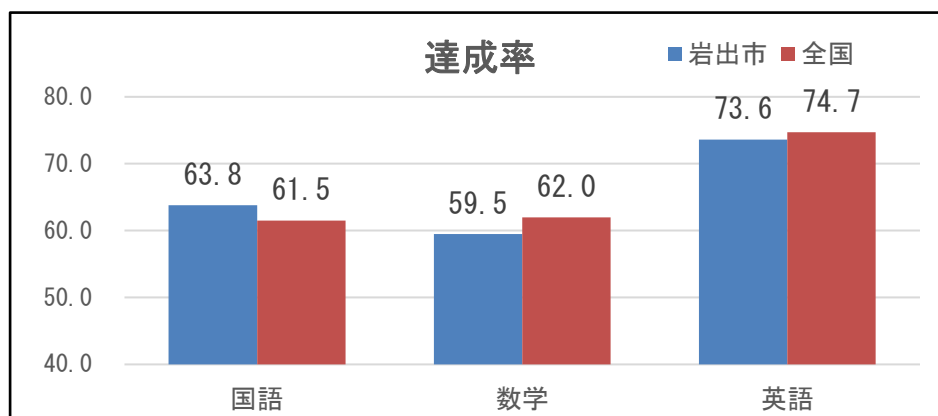
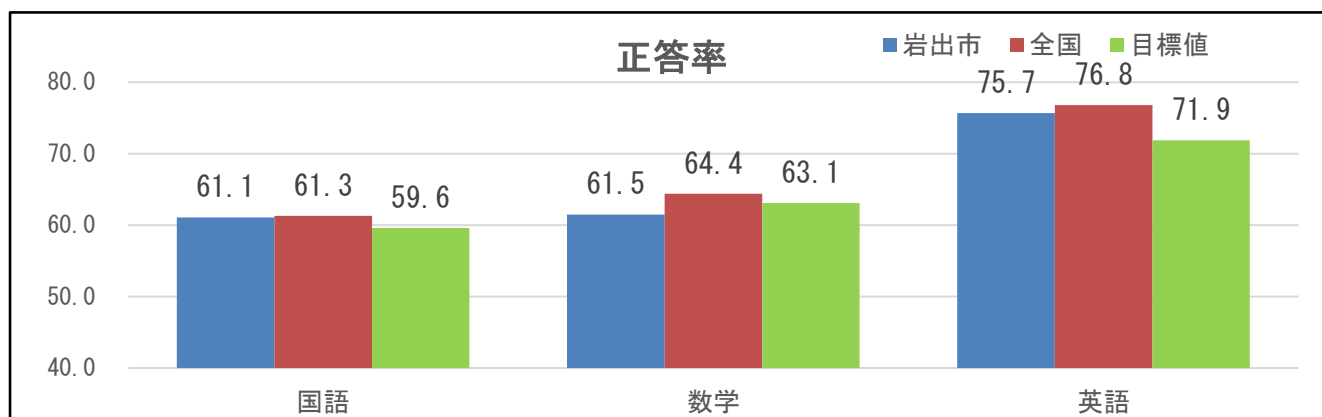
- 1 調査日 令和6年4月18日（木）
- 2 調査の目的
県内の中学生における生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
また、学校における生徒への学習指導の改善・充実に役立てる。
- 3 調査対象 中学校1・2・3年
- 4 調査内容 教科調査 国語、数学、英語の3教科とする。（3年は英語1教科のみ）

全 国 …… 業者テストを採用した生徒の平均値
正答率 …… 対象となる設問におけるその集団の正答率の平均値
目標値 …… 学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したもの
達成率 …… 目標値と同程度以上の正答率であった生徒の割合

教 科 調 査

※○…説明事項 □…「できている」と考えられるもの ■…「課題がある」と考えられるもの

【 中学校1年生 】



【 全 体 】

- 「国語」は、目標値をやや上回っていて、全国正答率と同程度である。「数学」は、目標値・全国正答率をとともにやや下回っている。「英語」は、目標値を上回っているが、全国正答率をやや下回っている。
- 達成率では、「国語」は63.8%の生徒が目標値を達成しており、全国値を上回っている。「数学」は

５９．５％、「英語」は７３．６％の生徒が目標値を達成しているが、ともに全国値をやや下回っている。
○正答率度数分布では、「国語」は正答率が中位層に厚く分布しており上位層がやや少ない。「数学」は正答率が中・下位層に偏っており上位層が少ない。「英語」は正答率が中位層に厚く分布しており上位層が少ない。

【国語】

□「漢字を読む・書く」内容は、すべての問題で全国正答率を上回っている。「文章を書く」の『指定された長さで文章を書く』問題は、目標値・全国正答率を大きく上回っていて、同内容の『読み取った内容を明確に書く』問題は、目標値・全国正答率を上回っている。

■「インタビューの内容を聞き取る」の『意図に応じて、話の内容を捉え適切な質問をする』問題は、目標値を下回っている。また、「文法・語句に関する事項」の『熟語の成り立ちについての理解』『敬語についての理解し、正しく使う』、「説明的な文章の内容を読み取る」の『文章全体の構成を捉える』、「説明的な文章の内容を読み取る」の『登場人物の心情について、描写を基に捉える』『文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げる』、「報告する文章を書く」の『文章の書き表し方に着目して、文章を整える』問題は、目標値をやや下回り、正答率も全国を下回り課題がある。

【数学】

□「整数の性質（最大公約数）」「単位量あたりの大きさ」「比と比例・反比例」「平均・場合の数」の問題はほとんどが目標値、全国平均正答率を上回っている。

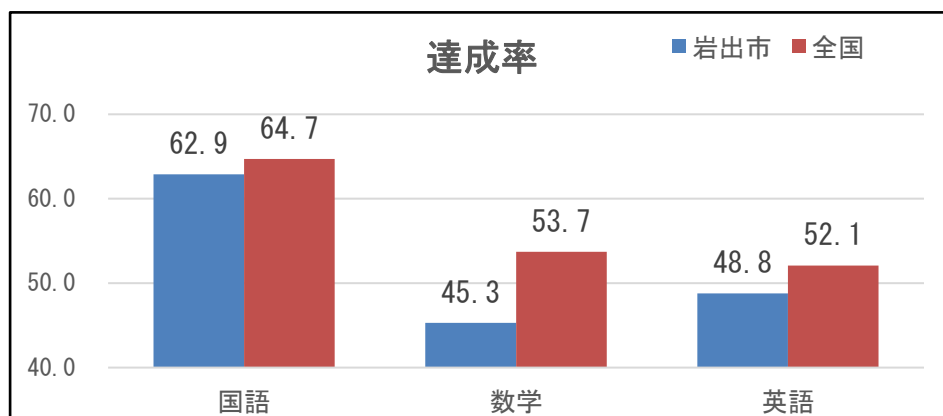
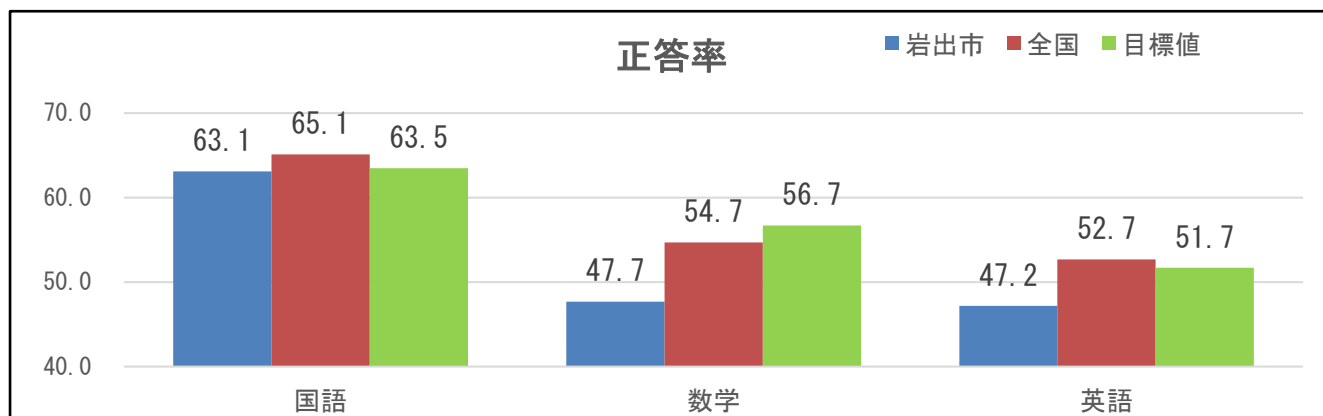
■「小数・分数の計算」の『小数の除法の文章問題を表した図を読み取る』、「文字と式」「平面図形」「百分率」「データの活用」「いろいろなグラフの読み取り」の問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く大きな課題がある。

【英語】

□「アルファベットの読み・書き」「英作文」の問題はすべて目標値・全国正答率を上回っている。

■「日常会話の理解（聞く）」「会話全体の理解（聞く）」「英文の読み取り（聞く）」「単語の読み」「英文の完成」の問題は、目標値・全国正答率を下回り課題がある。

【 中学校２年生 】



【 全 体 】

- 市全体では、「国語」は目標値をやや下回り、全国正答率と同程度である。「数学」は目標値・全国正答率を大きく下回っている。「英語」は目標値を大きく下回り、全国正答率を下回っている。
- 達成率では、「国語」は62.9%の生徒が目標値を達成しているが、全国値をやや下回っている。「数学」は45.3%の生徒が目標値を達成しているが、全国値を大きく下回って差がある。「英語」は48.8%の生徒が目標値を達成しているが、全国値を下回っている。
- 正答率度数分布では、「国語」の正答率は平均的である。「数学」の正答率は上・中・下位層の各層へのバラつきがあり、学力層の分散傾向が見られる。「英語」の正答率は、中位・下位層に厚く分布しており上位層が少ない。

【 国 語 】

- 「漢字を読む・書く」問題の6問中4問は目標値を上回っている。「文章を書く」の『指定された長さで文章を書く』『2段階構成で文章を書く』『自分の考えを明確にして書く』問題は、目標値・全国正答率を上回っている。
- 「文学的な文章の内容を読み取る」問題は、目標値をやや下回り、正答率も低い傾向にある。「話し合いの内容を聞き取る」の『自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考える』、「文法・語句に関する事項」の『単語について理解する』『漢字の部首について理解する』、「調べたことをスピーチする」の『話の内容を捉え、自分の考えをまとめる』問題は、目標値を大きく下回って差があり、正答率も下回って大きな課題がある。

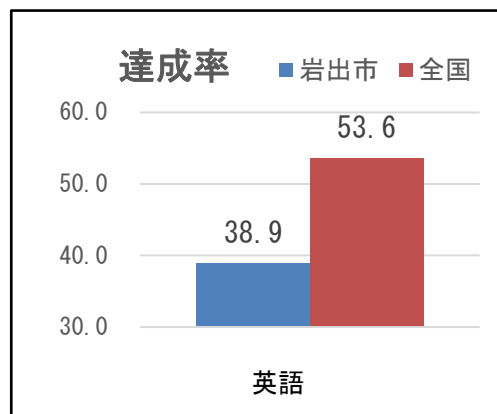
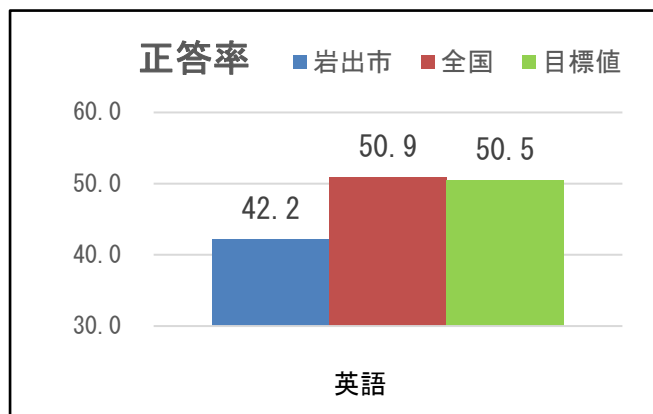
【 数 学 】

- 「正の数・負の数」の『絶対値について理解する』、「空間図形」の『直方体のねじれの位置関係について理解する』問題は、目標値を上回り、正答率は全国正答率と同程度である。
- 「正の数・負の数」「空間図形」のほとんどの問題、「文字式」「1次方程式」「比例・反比例」「平面図形」「データの分布の傾向」のすべての問題で、目標値・全国正答率を下回り課題がある。

【 英 語 】

- 「単語の並べかえによる英作文」の問題の正答率は、目標値と同程度である。
- 「リスニング（内容理解、対話文の応答、さまざまな英文の聞き取り）」「語形・語法の知識理解」「語彙の知識理解」「さまざまな英文の読み取り」「長文の読み取り」「場面に応じて書く英作文」「3文以上の英作文」のほとんどすべての問題で、目標値・全国正答率を下回り課題がある。

【 中学校3年生 】



【 英 語 】

- 市全体では、正答率は目標値・全国正答率を下回っている。
- 達成率では、38.9%の生徒が目標値を達成しているが、全国値を大きく下回り差がある。
- 正答率度数分布では、正答率は中位・下位層に厚く分布しており上位層が少ない。
- ほとんどすべての問題の内容で、目標値・全国正答率を下回っており大きな課題がある。